

## II 病院報告

### 1 患者数

#### (1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

令和3年中における全国の病院の1日平均在院患者数は1,142,570人で、前年に比べ2.0%減少している。

このうち、「精神科病院」は208,069人で、前年に比べ1.3%減少し、「一般病院」は934,501人で、前年に比べ2.1%減少している。

一般病院の1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は62,697人、「療養病床」は244,936人、「一般病床」は619,279人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は11,120人となっている。

また、1日平均新入院患者数は41,520人、1日平均退院患者数は41,558人となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の1日平均在院患者数は3,074人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は939人となっている。(表1、図1)

(参考) 統計表1 年間患者数, 病院の種類-病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

	各年間								
	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	令和3年 (2021)	令和2年 (2020)	対前年 増減率	令和3年 (2021)	令和2年 (2020)	対前年 増減率	令和3年 (2021)	令和2年 (2020)	対前年 増減率
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
病 院									
総 数	1 142 570	1 165 389	△ 2.0	41 520	41 104	1.0	41 558	41 262	0.7
精 神 科 病 院	208 069	210 916	△ 1.3	675	672	0.4	682	686	△ 0.6
一 般 病 院	934 501	954 473	△ 2.1	40 845	40 432	1.0	40 876	40 576	0.7
精 神 病 床	62 697	64 959	△ 3.5	304	311	△ 2.3	313	324	△ 3.4
感 染 症 病 床	6 436	2 147	199.8	685	255	168.6	606	188	222.3
結 核 病 床	1 153	1 313	△ 12.2	23	24	△ 4.2	21	22	△ 4.5
療 養 病 床	244 936	252 747	△ 3.1	1 177	1 156	1.8	1 771	1 781	△ 0.6
一 般 病 床	619 279	633 307	△ 2.2	38 655	38 686	△ 0.1	38 165	38 261	△ 0.3
(再掲)									
介 護 療 養 病 床 <sup>1)</sup>	11 120	17 040	△ 34.7	17	28	△ 39.3	30	59	△ 49.2
療養病床を有する診療所									
療 養 病 床	3 074	3 545	△ 13.3	19	22	△ 13.6	26	30	△ 13.3
(再掲)									
介 護 療 養 病 床 <sup>1)</sup>	939	1 187	△ 20.9	6	6	△ 0.0	7	7	△ 0.0

注：1) 介護療養病床は療養病床の再掲である。

2) 月途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

## (2) 病院の1日平均外来患者数

病院の1日平均外来患者数は1,243,000人で、前年に比べ4.2%増加している。

このうち、「精神科病院」は57,030人で、前年に比べ2.4%増加し、「一般病院」は1,185,970人で、前年に比べ4.3%増加している。(表2、図1)

(参考)

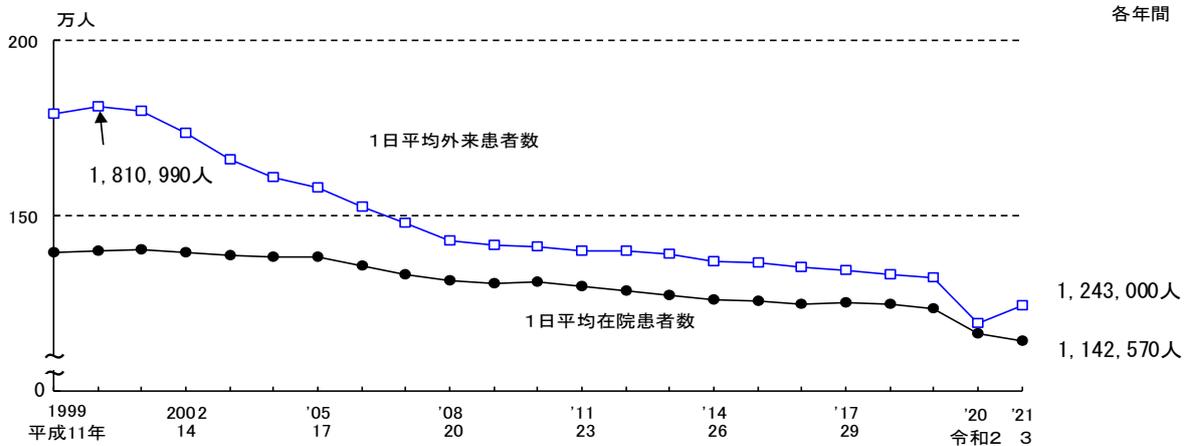
統計表1 年間患者数、病院の種類－病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

表2 病院の1日平均外来患者数

	1日平均外来患者数		対前年増減率 %
	令和3年 (2021)	令和2年 (2020)	
病院	人	人	
総数	1 243 000	1 193 205	4.2
精神科病院	57 030	55 697	2.4
一般病院	1 185 970	1 137 508	4.3

注：令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設（球磨医療圏）は、報告のあった患者数のみ集計した。

図1 病院の1日平均患者数の年次推移



注：1) 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。  
 2) 熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設（阿蘇医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。  
 3) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。  
 4) 令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設（球磨医療圏）は、報告のあった患者数のみ集計した。

### (3) 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均患者数

#### 1) 在院患者数

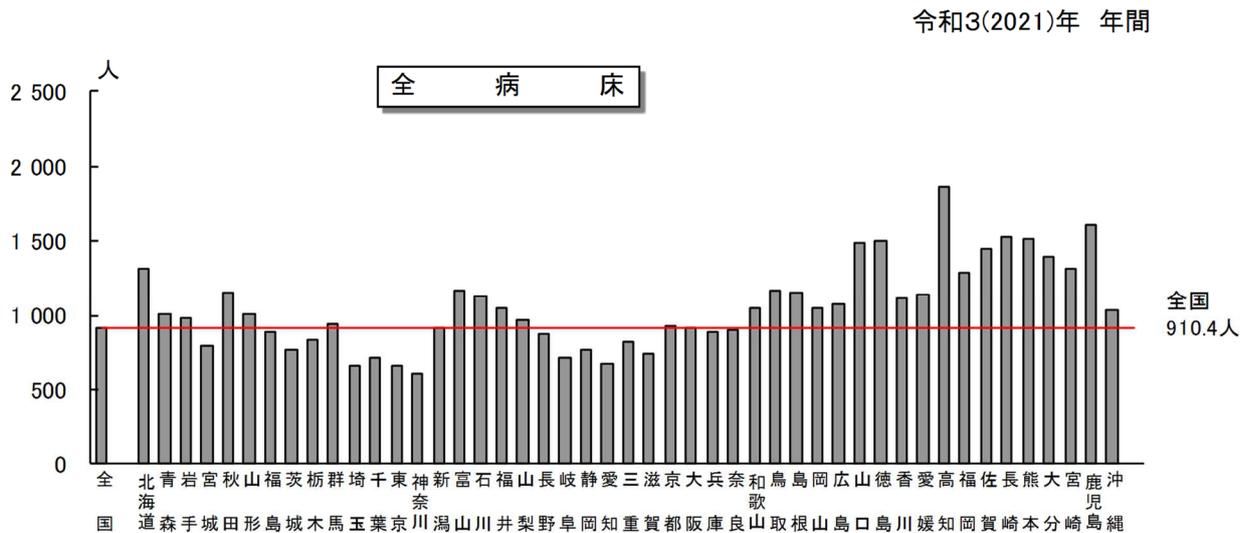
全国の人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「全病床」は910.4人で、前年(923.8人)に比べ13.4人減少、「精神病床」は215.7人で、前年(218.7人)に比べ3.0人減少、「療養病床」は195.2人で、前年(200.4人)に比べ5.2人減少、「一般病床」は493.4人で、前年(502.0人)に比べ8.6人減少している。

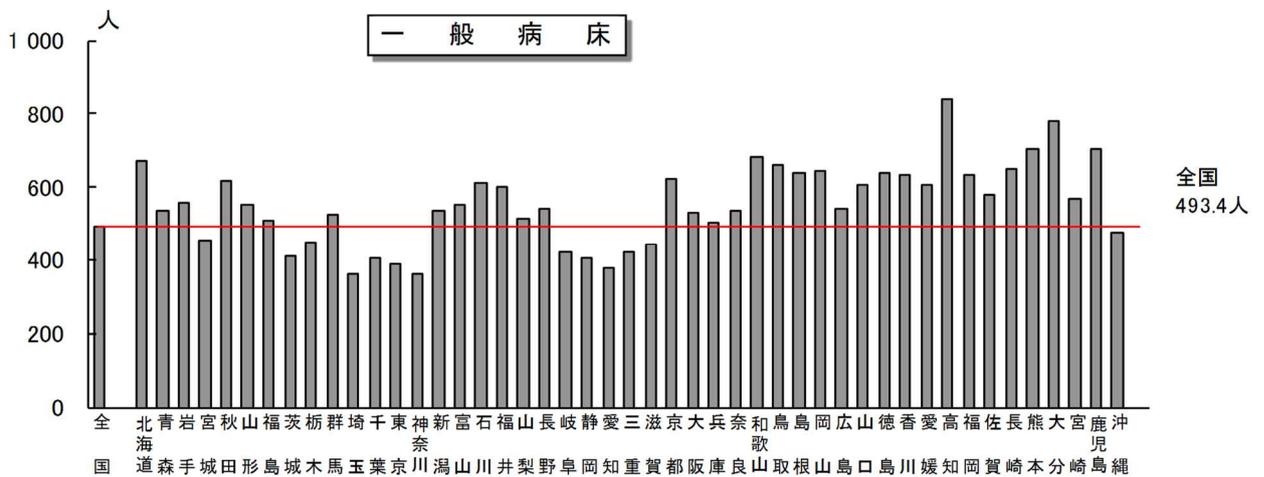
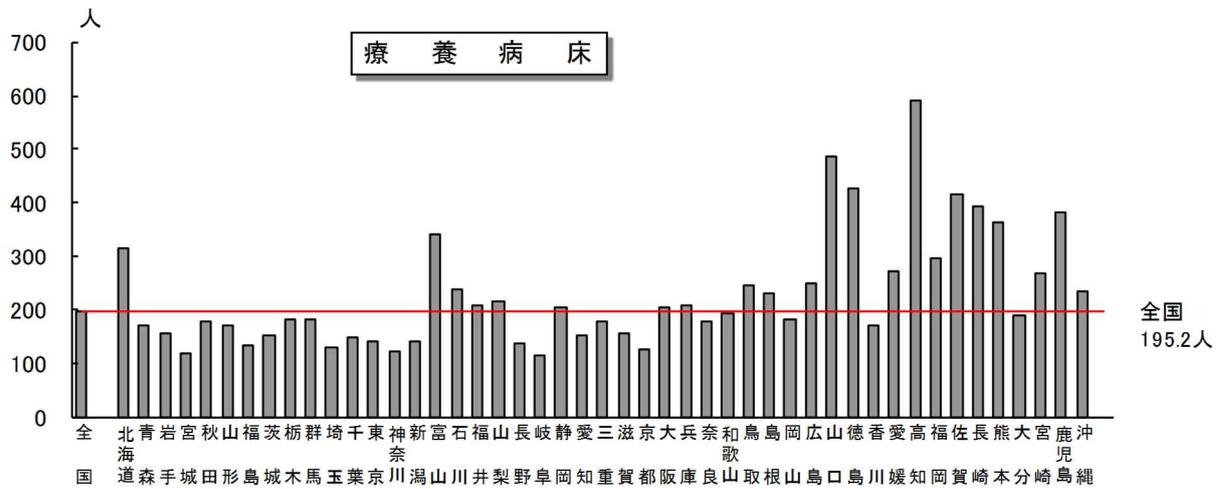
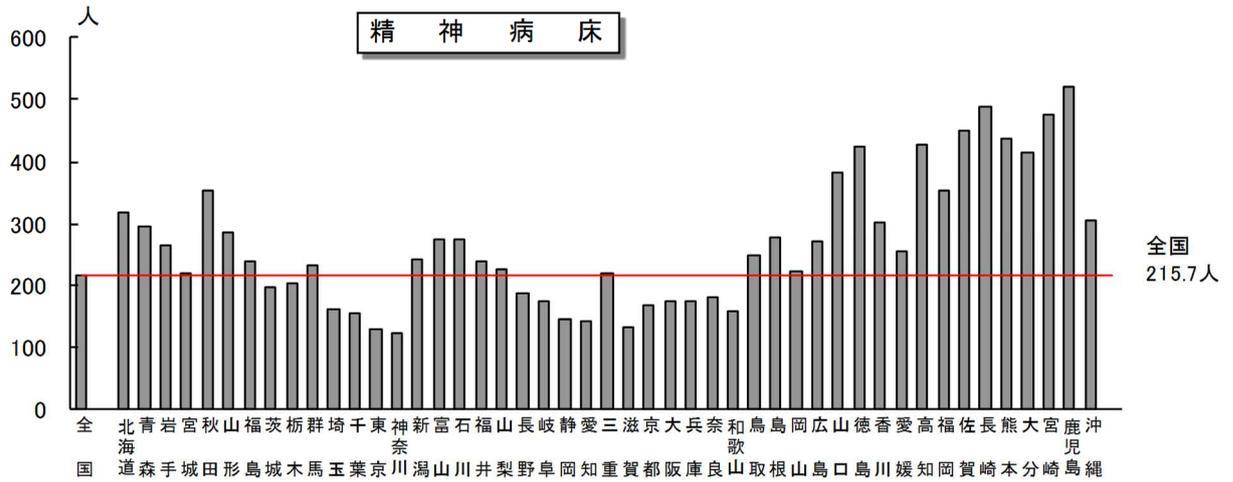
これを都道府県別にみると、「全病床」は高知県の(1,866.2人)が最も多く、次いで鹿児島県(1,610.3人)となっており、神奈川県(610.9人)、埼玉県(660.0人)などが少なくなっている。「精神病床」は鹿児島県(520.3人)が最も多く、次いで長崎県(487.3人)となっており、神奈川県(121.9人)、東京都(129.1人)などが少なくなっている。「療養病床」は高知県(591.6人)が最も多く、次いで山口県(488.6人)となっており、岐阜県(114.3人)、宮城県(117.5人)などが少なくなっている。「一般病床」は高知県(840.7人)が最も多く、次いで大分県(781.8人)となっており、埼玉県(361.0人)、神奈川県(362.1人)などが少なくなっている。(図2)

(参考)

- 統計表2 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移
- 統計表3 都道府県別にみた人口10万対1日平均患者数

図2 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均在院患者数





## 2) 外来患者数

人口10万対1日平均外来患者数は全国990.4人で、前年(945.9人)に比べ44.5人増加している。

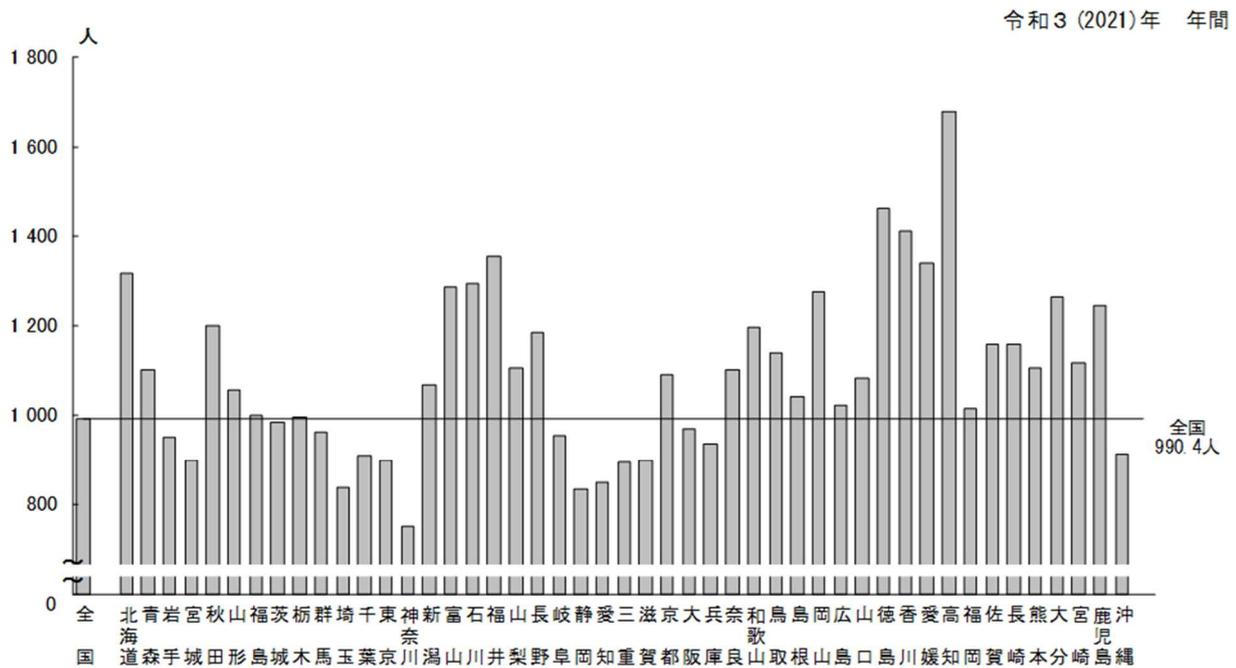
これを都道府県別にみると、高知県(1,676.3人)が最も多く、次いで徳島県(1,463.9人)となっており、神奈川県(750.1人)、静岡県(830.8人)などが少なくなっている。(図3)

(参考)

統計表2 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表3 都道府県別にみた人口10万対1日平均患者数

図3 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均外来患者数



## 2 病床利用率

病院の病床利用率は76.1%で、前年に比べ0.9ポイント低下している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は83.6%で前年に比べ1.2ポイント低下している。「療養病床」は85.8%で前年に比べ0.1ポイント上昇している。「一般病床」は69.8%で前年に比べ1.5ポイント低下している。「介護療養病床」は85.9%で前年に比べ2.2ポイント低下している。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は49.7%で、「介護療養病床」は65.5%となっている。(表3)

(参考) 統計表2 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

表3 病床の種類別にみた病床利用率

	病床利用率		対前年 増減
	令和3年 (2021)	令和2年 (2020)	
	%	%	
病院			
全病床	76.1	77.0	△ 0.9
精神病床	83.6	84.8	△ 1.2
感染症病床	343.8	114.7	229.1
結核病床	28.9	31.5	△ 2.6
療養病床	85.8	85.7	0.1
一般病床	69.8	71.3	△ 1.5
介護療養病床	85.9	88.1	△ 2.2
療養病床を有する診療所			
療養病床	49.7	51.2	△ 1.5
介護療養病床	65.5	68.1	△ 2.6

注：在院患者数は許可（指定）病床数にかかわらず、毎日24時現在に在院している患者数をいう。  
このため、感染症病床の在院患者数には、緊急的な対応として一般病床等に在院する者を含むことから病床利用率は100%を上回ることがある。

### 3 平均在院日数

#### (1) 病床の種類別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数は27.5日で、前年に比べ0.8日短くなっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は275.1日で前年に比べ1.9日短くなっている。「療養病床」は131.1日で前年に比べ4.4日短くなっている。「一般病床」は16.1日で前年に比べ0.4日短くなっている。「介護療養病床」は327.8日で、前年に比べ40.1日長くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は105.7日で、「介護療養病床」は129.2日となっている。(表4、図4)

(参考) 統計表2 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

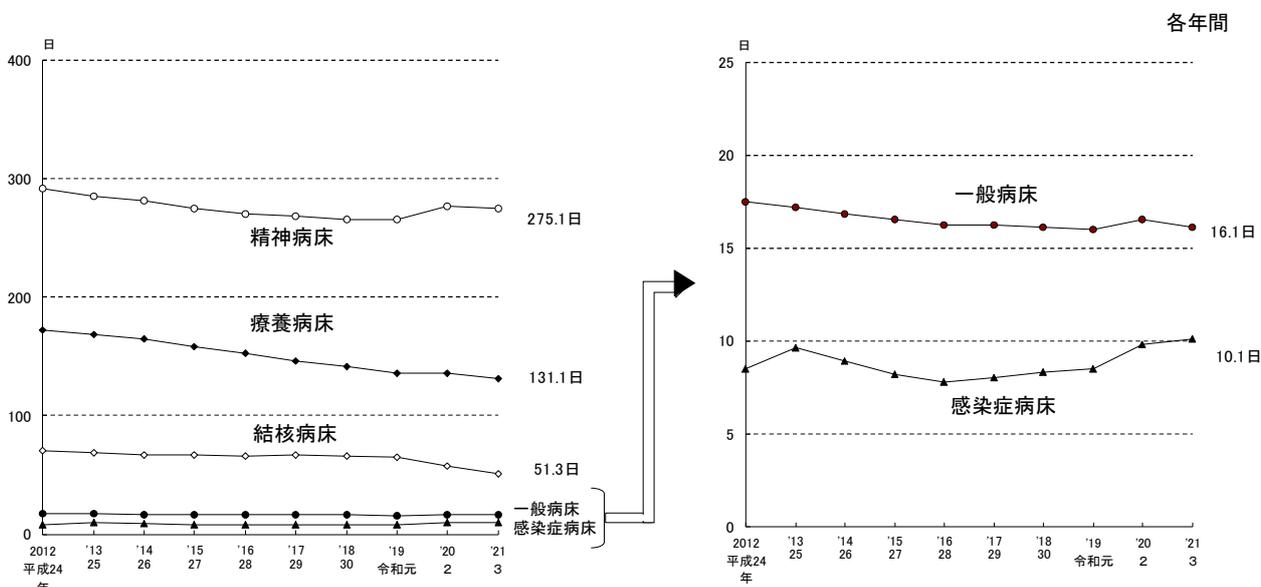
表4 病床の種類別にみた平均在院日数

(単位:日)	平均在院日数		対前年 増減数
	令和3年 (2021)	令和2年 (2020)	
病院			
全病床	27.5	28.3	△ 0.8
精神病床	275.1	277.0	△ 1.9
感染症病床	10.1	9.8	0.3
結核病床	51.3	57.2	△ 5.9
療養病床	131.1	135.5	△ 4.4
一般病床	16.1	16.5	△ 0.4
介護療養病床	327.8	287.7	40.1
介護療養病床を除く全病床	27.3	27.9	△ 0.6
療養病床を有する診療所			
療養病床	105.7	107.6	△ 1.9
介護療養病床	129.2	150.7	△ 21.5

注: 1) 平均在院日数の計算式は4頁を参照。

2) 令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設(球磨医療圏)は、報告のあった患者数のみ集計した。

図4 病院の病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移



注: 1) 熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設(阿蘇医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。  
 2) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。  
 3) 令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設(球磨医療圏)は、報告のあった患者数のみ集計した。

## (2) 病院の都道府県別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数を都道府県別にみると、「全病床」は高知県（40.3日）が最も長く、東京都（22.0日）が最も短くなっている。「精神病床」は山口県（444.3日）が最も長く、東京都（192.5日）が最も短くなっており、「療養病床」は富山県（201.1日）が最も長く、長崎県（90.0日）が最も短くなっている。「一般病床」では高知県（20.5日）が最も長く、愛知県（13.7日）が最も短くなっている。（表5、図5）

（参考）統計表4 都道府県別にみた病床利用率及び平均在院日数

### 表5 病院の平均在院日数

（単位：日） 令和3(2021)年 年間

	全病床		精神病床		療養病床		一般病床	
全国	27.5		275.1		131.1		16.1	
長い県	高 知	40.3	山 口	444.3	富 山	201.1	高 知	20.5
	佐 賀	39.6	大 分	419.5	石 川	184.0	熊 本	19.4
	鹿 児 島	39.1	長 崎	376.3	北 海 道	182.5	鹿 児 島	19.1
	山 口	37.4	茨 城	371.5	神 奈 川	162.4	和 歌 山	19.1
	熊 本	37.3	鹿 児 島	369.0	香 川	157.8	大 分	18.6
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	
短い県	滋 賀	23.9	山 梨	229.6	鹿 児 島	102.1	岐 阜	15.1
	長 野	23.6	滋 賀	223.7	山 形	100.2	宮 城	14.9
	愛 知	22.8	奈 良	219.4	奈 良	97.9	神 奈 川	14.1
	神 奈 川	22.6	福 井	217.3	大 分	93.6	東 京	13.9
	東 京	22.0	東 京	192.5	長 崎	90.0	愛 知	13.7
（最長－最短）	18.3		251.8		111.1		6.8	

注：1）平均在院日数の計算式は4頁を参照。

2）小数点第1位の数値は、小数点第2位を四捨五入して表示している。

3）数値が同率であった場合、四捨五入する前の数値を基に表示している。

### 図5 病院の都道府県別にみた平均在院日数

